

三瀬砦(下三瀬城) (県史跡) (多気郡大台町上三瀬)

北畠の家臣で、土地の有力者であった三瀬氏歴代の居城であったといわれている。
大谷川が宮川本流と合するくちばし状の突端にあって南・西・北の三方は断崖であり要害の地となっている。

砦の周囲は高さ約3mの土塁によって囲まれ、内部には古井戸もあり昔の名残をとどめている。

現在は杉が植えられ、八幡社が祀られている。毎年3月の例祭には餅撒きが行われる。

昭和50年3月27日に県教育委員会から史蹟に指定。

観光三重による

